

正成の首級



生田廿玖天

第一場

河内国金剛山中殿楠家の~~住居~~千早城奥
殿の場(二重、正西、上、午、廊下、傳心、
と~~經~~し。高脚)列座

登場人物

楠正行

十三歳

母清の方

四十二歳

如千早姫

十七歳

楠家老臣

和田和泉守

同

恩地左衛門

足利
高才の臣

世瀬川左衛門入道祐博

い

即堂一人

正行の小姓

金巻

蒲三郎其他大執力

楠家の侍頭

輕中問善七

外の楠家の足裏大執力

奥殿に仕る侍廿二人

幕中明くと正行は大執の同じ年輩の~~小姓~~を討

年の、~~御術~~の結を為し居る。正行は中央に